

12 がっひかりごう

令和 4 年 12 月 1 日 輝 保 育 園

コロナと共存する 1 年でした。子ども達も「丁寧に手を洗う」ということが定着したようです。この冬は、コロナに加えインフルエンザが流行すると言われています。園でもこまめな手洗い、換気、湿度管理など子どもたちの体調管理をしています。ご家庭でも、子どもたちの体調に気を配り、具合がすぐれない様子が見られたらお休みするなど、ご配慮いただくようお願いします。本年も、保護者の皆様からたくさんのご協力をいただきました。大変感謝しています。良い年をお迎えください。

【【 12 月 1 日はカイロの日 】】

使い捨てカイロの需要がピークを迎える 12 月に制定されました。

鉄を濡れたまま放置しておくとサビが発生します。

これは鉄が空気中の酸素と反応して酸化鉄になる化学反応です（鉄の酸化）。

この化学反応が起こるときに出る熱を利用したものが使い捨てカイロです。

44 ~ 50 °C のものに皮膚が直接触れ続けると「低温やけど」が起こります。

「低温やけど」は、皮膚の奥深くまでゆっくり進行するので治療が大変になります。



= 12 月の行事予定 =

2 日 (火) 避難訓練

23 日 (金) お誕生会・身体測定・クリスマス会

28 日 (水) 保育納め

29 日 (木) 年末年始休み

1 月 3 日 (火)

4 日 (水) 保育始め



== ナース・レポート ==

【 新型コロナ「第 8 波」 年明けに到来か 】

新型コロナウイルスの感染者が再び増加するなか、専門家のシミュレーションでは、感染者数のピークは年明けになるとの分析結果が出た。

11/16 TBS ニュースより抜粋

BQ.1 系統というあらたな変異株も確認されており、重症度は不明ですが、免疫逃避能力が高い（免疫をすりぬける力）、そして感染伝播力が 20 % 高い（感染を広げる力）とされています。

ニュースでは、関東の小中学校にてインフルエンザで学級閉鎖との報道もあります。

今季は新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されている状況です。

高熱に限らず、咽頭痛や咳、頭痛などの症状が似ています。

発熱などの症状がある場合は、都道府県の受診・相談センターなどの電話相談や、#7119（病院にすぐいくべきか、救急車を呼ぶかどうか等の電話相談窓口）、#8000（子どもの医療に関する相談窓口）も活用しましょう。

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

生活習慣は育ちの基礎

2. 生活習慣づくりは幼児期から始めましょう！

生活習慣は、大きくなれば自然に身に付くというものではありません。

親の正しいしつけによって形成されます。







幼児期からしつけていき、遅くとも 9 才頃までには身に付けさせるようにしたいものです。

時機を逸すると簡単なこともできなくなり、心身の発達に望ましくない影響が出てくるからです。

《 早寝早起きのためのポイント 》

- ① 子どもの望ましい就寝時刻（9 時頃）を理解し、決めておく。
- ② 就寝の 1 時間前にはテレビを見ないようにする。
- ③ 就寝の準備（着替え、歯磨き等）を行う。
※ 絵本などの読み聞かせも大切
- ④ 部屋を暗くする。
- ⑤ 起きる時間の少し前にカーテンをあけ、朝日を入れる。⇒ 声をかける

「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

| | | |
|---|--|--|
| こ ど も の よ う す | たんぽぽぐみ 0 才児  | 絵本の読み聞かせの時間、話の中に出てくる「いないいないばあ」の「ばあ」や「あっぱっぱ」の「ぷっぷ」などのセリフを共に言ってくれたり、「ワンワン」、「プープー」、「ニャーニャー」など物を指差して伝えたり、絵本が終わるときに「バイバイ」と言ったりと言葉での表現が増えてきました。喃語や発語、おしゃべりも上手になり、とてもにぎやかです。言葉の獲得には音声を聞く、音声を発する、コミュニケーション、物の認知が必要となります。乳児期の早いうちから様々な音を聞き分け、特に人が話す音を心地よいと感じ、音声器官が発達すると母音を中心とした音声を発することができるようになります。泣いて何かを伝えようとする姿は、とても微笑ましく成長を感じる瞬間です。色々な物が育まれる言葉でのやりとり、語りかけを今後も楽しんでいきます。 |
| | たんぽぽぐみ 1 才児  | 少し肌寒い日もありますが、戸外に出て、お友だちと手を繋いで歩いたり、追いかけて遊んだり、虫探しをしたりと好きな遊びを楽しんでいます。「手、手」と言って手を繋ぎたいことを友だちに伝えたり、「〇〇ちゃん、行こう」、「〇〇ちゃん、～しよう」と誘ったり、友だちと関わり合いながら遊ぶことも多くなりました。一緒に過ごすことの心地よさを感じられるよう、見守ったり、仲立ちしたりしながら過ごしています。今までとは比べものにならない大きな声で、保育者を呼んだり、友だちに「大丈夫？」と声をかけたりするようになった子、保育者の声かけに、まずは「イヤ」、「イヤ、もう～」と答える子と、園でも遠慮せずに自分の思いを表現しています。思いを素直に表現できる環境を大切に過ごしていきます。 |
| | すみれぐみ 2 才児  | 池のほうへ散歩に出かけました。落ち葉の上を歩き「シャカシャカ」と音が鳴ることを楽しんだり、赤や黄色に色づいた木々の様子を見て「キラキラしてきれいだね」と子どもたちなりに様々な発見をし、それを言葉で表現しながら、散歩を楽しみました。言葉の成長と共に、子どもたち同士の会話もユニークさが増し、聞いていて思わず笑ってしまう事も多くあります。子どもたちの思いに共感したり、質問をすることで、「伝えたい」という思いが広がり、言葉のやり取りの楽しさを体験しています。また、三点支持も頑張っています。以前よりも上手に持てるようになり、友だち同士で見せ合ったり、持ち方を教えたりしています。出来なかったことが出来るようになる喜びを感じ、それが自信へとつながります。ご家庭でも、練習のご協力よろしくをお願いします。 |
| | ちゅうりっぷぐみ 3 才児  | 「自然に親しむ」という保育計画のもと、水辺公園へ落ち葉集めに行きました。到着してすぐに、紅葉した葉が風にのって一気に散るという事象に出会う事ができ「ワー！きれい！」と歓声があがりました。「好きな葉っぱを見つけてね」と袋を渡し、いよいよ落ち葉集めのスタートです。足元に視線を向け思い思いに好きな葉っぱを手に取ります。落ち葉集め後は、私のお気に入りの場所でもある「葉っぱの絨毯」の上を歩きに行きました。子ども達の反応を楽しみに先頭を歩いていると、後ろから「いい音がする！」と喜ぶ声が聞こえ、落ち葉の踏み心地を楽しむ可愛い姿が見られました。自然の美しさや面白さを感じる時間となったようで嬉しかったです。 |
| | ばらぐみ 4 才児  | 子どもたちは、衣服を調節しながら、寒い時も元気いっぱい遊んでいます。戸外では、先月も引き続きルールのある遊びを楽しんでいました。約束事を自分たちで確認し合い、トラブルが起きて子ども同士と一緒に解決している姿もありました。また、雲梯に挑戦する子が増えています。4 月頃はぶら下がっていただけの子が、何度もやっているうちに次の棒に手を伸ばせるようになっていく、といった姿もありました。子どもたちは、一つでも多く進めた子や最後までやりきった子へ、「すごいね」と言葉にして伝えます。子ども同士で認め合い言葉にして伝え合うことが、もっと挑戦してみようという気持ちをより強くしているようでした。今月は合奏や劇遊びの活動を計画しています。子ども達の「互いに認め合う力」をさらに引き出せるよう活動していきます。 |
| ひまわりぐみ 5 才児  | 運動会を終えてから、鬼ごっこやドッジボールなどのルールのある遊びをする姿がよく見られるようになりました。ルールを教え合いながら遊びを進めていますが、自分に都合のいいようにルールを変えてしまったりトラブルが起き、保育者に伝えることがあります。保育者が近くで見守ると自分の気持ちを伝えたり相手の気持ちを聴こうとしたりしますが、自分達の解決が難しい場面もあります。自分の気持ちを伝えることはできても、相手の気持ちを受け止めることが難しいようです。遊びや生活をする中で、相手の気持ちに気づき、相手の気持ちも受け止められるよう思いやりの心をもち、友だちとの関わりを深めてほしいと願っています。また、給食に何が入っているか、どんな栄養があるかなど確認しながら食事を楽しんでいます。 | |